

Ⅲ 〔法学部〕履修登録時の注意事項

≫1年間の履修制限単位「48単位」を超えて登録できません。

学修ガイドブックで、卒業要件を十分に確認した上で、余裕のある履修登録を行って下さい。

≫クラス指定の科目について

クラス指定をされている科目の時間割が他の必修科目と重複する場合は、教務課に申し出てください。

≫履修条件について

学修ガイドブックの「履修登録手続き」およびWEBシラバスの「履修上の注意」を熟読し、履修条件の確認を必ず行ってください。

・英語関係の科目については、プレイスメントテストの受験など事前の手続きが必要な場合がありますので、必ず必要な手続きを経た上で、WEB履修登録を行って下さい。

・各個人において、履修登録ができない科目（配当年次が違う、履修条件を満たしていない等）は画面に表示されません。

・履修登録数が上限に達した科目は登録できません。（対象科目：下記注意事項を参照のこと）

Ⅲ 〔法学部〕履修科目の注意事項

科 目	注 意 事 項
基礎教育科目 英語コア（英語） 基礎情報処理	原則、指定されたクラスで履修登録すること。 （後述参照） * 指定されたクラスが、他の選択必修科目などと重複する場合は必ず教務課に申し出ること。 * 語学は、WEB履修上での先着順の登録となります。また、英語コアを受講する場合、新1年生は必ず英語プレイスメント・テストを受験の上、指定された級のクラスを受講すること。
英語オプションA～H（導入）（発展）	希望するものは、必ずWEB履修上で登録を行うこと。先着順となります。 （詳細は外国語科目の講義概要で確認）
英語スピークン・インタラクション-1～4	新1年生は、英語プレイスメント・テストを受験すること。
応用判断推理（公務員試験対策） 応用数的推理（公務員試験対策）	判断推理、数的推理でそれぞれ単位を修得した者のみ履修可とする。
基礎教育科目の各科目のⅠ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱは、両方共に履修を原則とするが、ⅠまたはⅡの片方のみ履修可。但し、Ⅱは、Ⅰの履修条件が付いている場合、Ⅱのみの履修はできない。
専門教育科目	A・BもしくはⅠ・Ⅱは、履修条件が付いている場合、BまたはⅡのみの履修はできない。
リスニングⅠ・Ⅱ、ライティングⅠ・Ⅱ コミュニケーションⅠ・Ⅱ、パブリックスピーキングⅠ・Ⅱ インターネットと英語Ⅰ・Ⅱ、プレゼンテーション、ディベート	法律学科 法律英語コース、国際政治学科 国際英語コースの者しか履修できない。
情報発信実践演習A・B、社会調査Ⅰ・Ⅱ、 プログラミングⅠ・Ⅱ、オペレーションズ・リサーチⅠ・Ⅱ、 情報文化論、情報と社会、情報化と職業、 プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ、応用情報科学Ⅰ・Ⅱ、 電子商取引と情報経済	法律学科 法律情報科学コース、国際政治学科 国際情報科学情報科学コースの者しか履修できない。
外国書講読(法律)・(政治)A・B	(法律)と(政治)の両方履修登録できる。
クラス分けされている科目・同一科目で分割授業・同一科目にて複数担当者で開講されている科目は、一人の担当者を履修すること。	

※その他の科目についても、WEBシラバスで履修条件を必ず確認すること。

≫受講人数を制限する科目について（基礎教育科目）

別途、お知らせしています。該当の科目は、WEB履修上での先着順の登録になります。